

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	中央公民館主催事業	所管	教育委員会教育総務部 中央公民館
			Tel 2926-9355

事業の目的 (何の為に 行うか)	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際に生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	2,124	人

活動の内容	(何を したか)	①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。 ②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。 ③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。							
		活動実績	項目名	19 ----- 単位 件	項目名	660 ----- 単位 件	項目名	アンケート結果の分 析	586 ----- 単位 件
		主催事業数		事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施					

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	772	746	14,837	43.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	90 ----- 単位 %	89 ----- 単位 %	98.9 ----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当部課	部課コード	120701	取	2926-9355
事業コード	中央公民館主催事業	教育委員会教育総務部 中央公民館				
120701		グループ	中央公民館			
開始年度 昭和 28 年度 → 終了年度 平成 年度						

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令					
	分野別計画・指針	第3次所沢市生涯学習推進計画			社会教育法、所沢市立公民館設置及び管理条例、所沢市立公民館設置及び管理条例施行規則					
	関連・類似事業	文化活動支援事業(社会教育課)、家庭教育推進事業(社会教育課)								
	総合計画の体系	政策	第4章いきいきと学び文化をはくむまち	施策	4節 社会教育	中柱	1人と地域をはぐむ社会教育の推進	小柱	(3)地域とともにあゆむ公民館活動の充実	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ		H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位		実施計画における位置づけ…			H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>
コード	1221	地域コミュニティの拠点整備	コード		コード					
事業開始の背景		昭和24年に社会教育法が制定され、この中で公民館においては、その設置目的達成のため、実際生活に即する教育・学術及び文化に関する各種事業を行うこととされている。								

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)									
	市民の学習要求に基づき、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を実施する。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	市民					公民館主催講座の受講者数				
対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	2,993	人	
		平成 19 年度	339,058	人			平成 19 年度	2,124	人	
事業の具体的な内容及び実施方法										
①職員による事業の企画・立案あるいは市民を交えた企画準備会又は実行委員会により、事業の企画・立案、運営方法等を検討する。										
②生涯学習情報紙及び公民館だより、チラシ等を活用して参加者を募集する。										
③事業終了後は、学習の記録や参加者の意見、感想等を取りまとめ、次年度へ向けての検討材料とする。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])								
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)								
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
平成19年度中に改善した点										
元町北地区再開発事業に伴う建替に伴い、平成19年2月に生涯学習センター内に移転し、当施設を使用して、特に現代的課題をテーマに講座を実施した。また、地域性を考慮し、中央地区内の施設も使用し、講座を開催した。										

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		2,725	772	975
	決 算 (見込み含む)		2,379	746	
	(嘱託職員) (臨時職員)	(0.90 人) (0.00 人) (0.00 人) (0.00 人)			
	正規職員人件費	1.25 人	11,500	1,500 人	14,091
	公債費				
	事業費合計		13,879	14,837	
	財源内訳	一般財源	13,614	14,598	975
		国・県支出金			
		受益者負担金	265	239	
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)			41.1	43.8	
利用数一単位あたり(単位:円)			4,637.2	6,985.4	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	主催事業数	年間事業数	件	21	19	19
		事業参加者に対する5段階評価アンケートの実施	アンケート回答件数	件		660	700
		アンケート結果の分析	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数	件		586	600
成果分析	参加者の満足度割合	「満足」及び「ある程度満足」と回答を得た件数÷アンケート回答件数×100	目標値	80	90	90	90
			実績			89	
			達成率		98.9		実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	現在の実施主体	
			市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	見直しの必要性	
	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	中央公民館の改築に伴い、生涯学習センター内に移転したことから、地域住民等の交流が希薄になることが懸念し、講座等を所沢地区内の施設にて開催することなどで対応してきた。しかしながら、全体的に参加者数が減少傾向にあるため、講座のPRを今後も積極的に行う。			
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	講座内容に満足した参加者の割合を高める。	講座の開催を積極的にPRして、受講者の満足度を90%以上とする。	平成21年3月
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由				
市民の学習要求は、年々多様化しているが、現状では、予算的問題、人的な問題が十分に感じられていないのが現状である。問題解決のために何らかの予算確保の手立てを講ずるとともに職員体制の充実を図る必要がある。				
評価日	平成20年5月15日	記入者職氏名	中央公民館 館長 神谷明	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
	年度内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	
年度内優先順位	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	評価日				
優先度評価	A:優先的に資源配分をすべきと評価する事務事業					
	B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業					
	C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り					計画コード	412
	施策の体系	4-1環境教育・環境学習の推進		4-1-2学習の場や機会の提供				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し					計画コード	
	基本目標							
主要課題								
施策の方向								